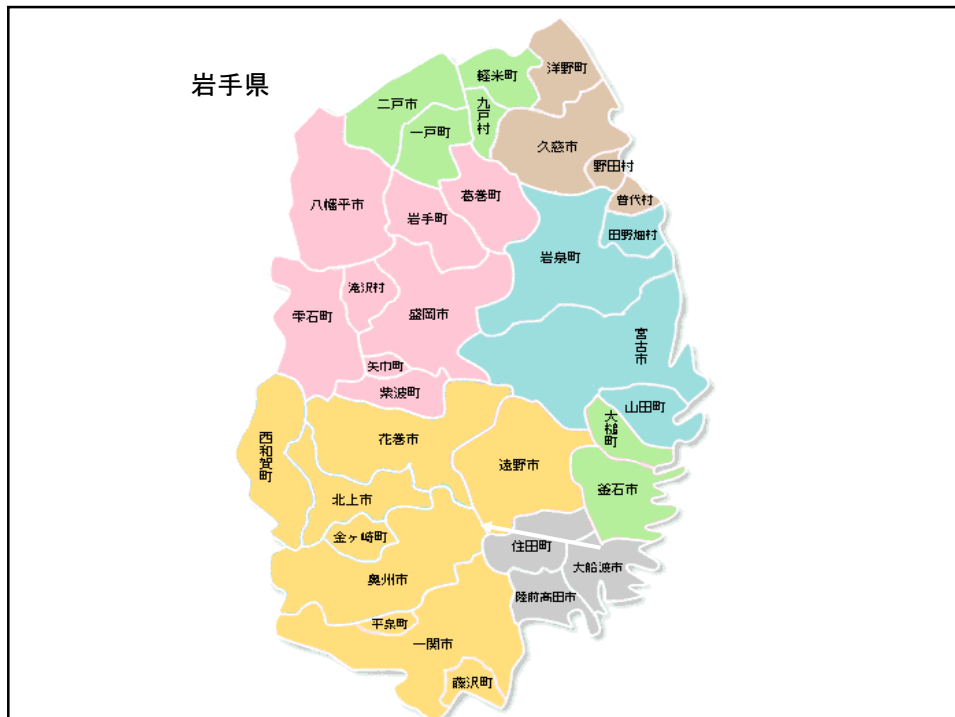


岩手県における高次脳機能 障害支援の取り組みについて

いわてリハビリテーションセンター
ソーシャルワーカー
高次脳機能障害支援コーディネーター
上田大介



いわてリハビリテーションセンターの概要



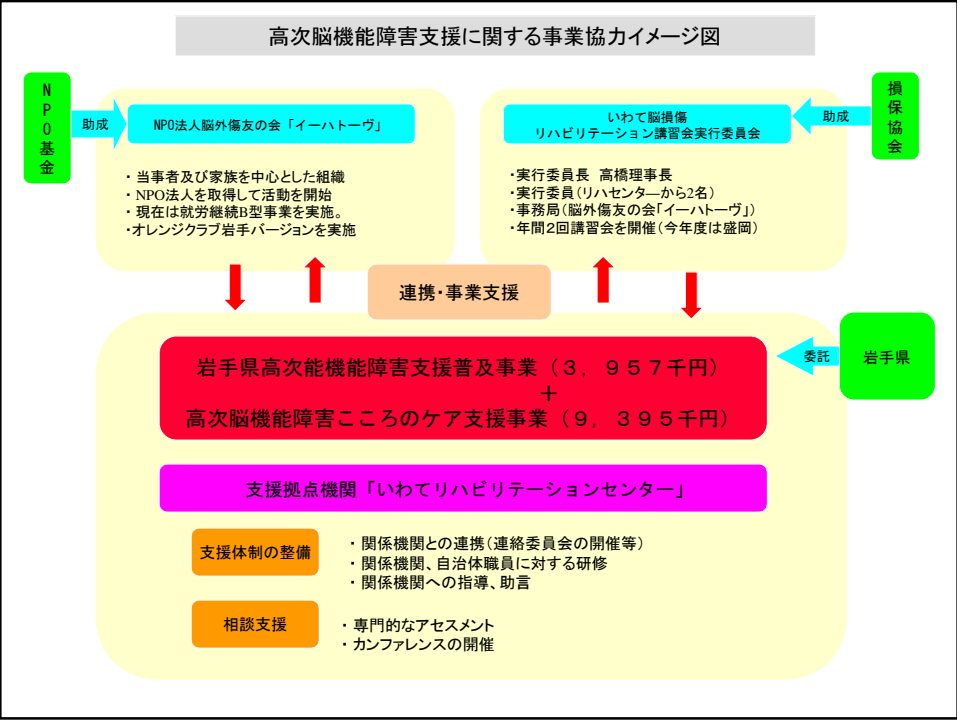
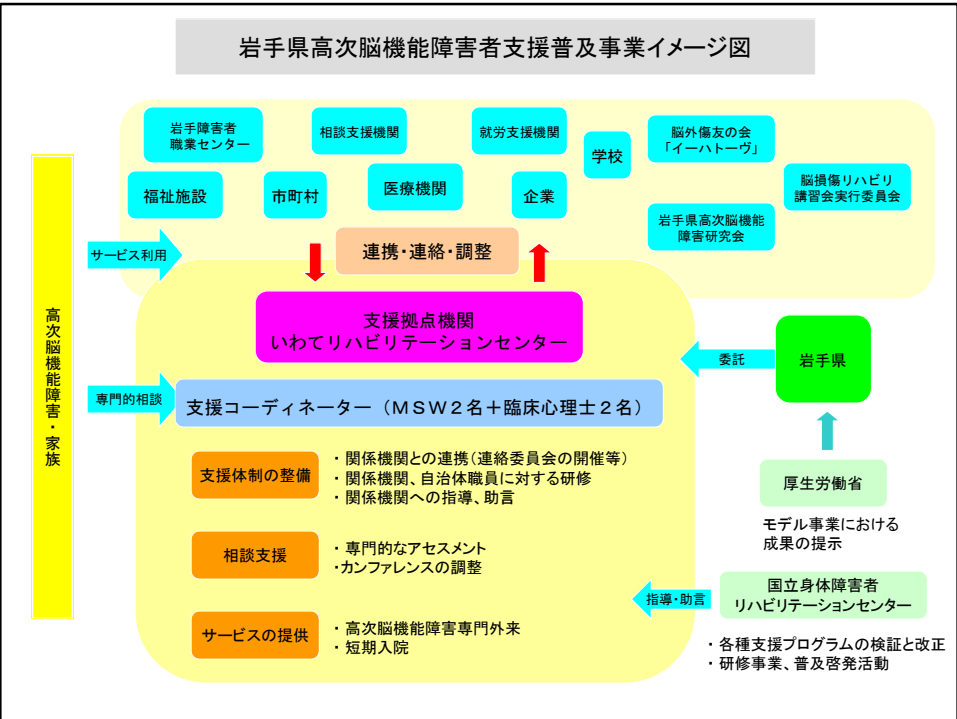
病床区分：回復期リハビリテーション病棟100床

紹介予約制：原則として医療機関からの紹介状が必要

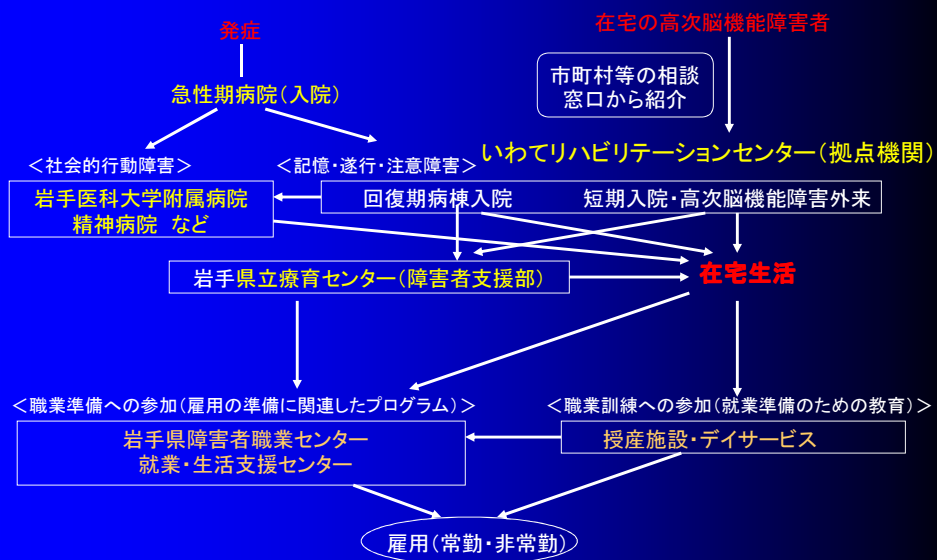
リハビリを専門的に行う高度診療機能を持つとともに、リハビリに関する教育・研修の実施、調査・研究、さらには、市町村等における地域支援の4つの機能を併せ持つ施設です。

支援事業までの取り組み

- 2000 脳外傷交流セミナー開催（名古屋）→**ここから**
- 2000 名古屋リハCPの阿部順子先生を講演会に招聘
- 2000 行政や関係機関に積極的な働きかけを開始
- 2002 日本脳外傷友の会名古屋シンポジウム→**職員派遣**
- 2004 いわて高次脳機能障害者・家族を支える会発足
- 2004 高次脳機能障害者・家族会「イーハトーヴ」発足
- 2004 第1回脳損傷リハビリテーション講習会開催
- 2004 支える会で「高次脳機能障害者実態調査」を実施
- 2006 「イーハトーヴ」NPO法人格を取得
- 2007 いわて高次脳機能障害者・家族を支える会解散
- 2007 岩手県高次脳機能障害者支援普及事業開始



高次脳機能障害支援の流れ



平成23年度 相談支援の実施状況

- 1 関わりのあったケース（実人数）75名
- 2 相談件数（相談後の対応含み）のべ328件
- 3 ケース検討会開催 18回
- 4 ケース検討人数（実人数）26名

平成23年度 研修会及びセミナーの実施状況

- 1 高次脳機能障害支援研修会
自立支援協議会、リハ広域支援センターと共催
(11/5胆江地区40名参加
11/27花巻地区44名参加)
- 2 いわて脳損傷リハビリテーション講習会実行
委員会に参画し、セミナーを2回開催
(11/13二戸市100名、11/14盛岡市90名)
- 3 地域コーディネーター養成研修会
地域の核となる人材を養成するための研修会
(県内各地より医療福祉行政関係者60名参加)

今後の課題

- 関係機関の連携協働の仕組み
- 社会資源の不足（就労継続A型等）
- サービスの地域格差
- サービス提供機関への支援
- 地域の核になる支援者の養成
- アフターケアについて